

協働・連携を生み出す情報施策

目次

- 協働・連携に関する情報施策の取組事例
- 情報に関する現状・ニーズを踏まえた施策の方向性
- 先行事例の紹介
- 今後の取組について
- まとめ

協働・連携に関する情報施策の取組事例①

○報道発表資料等によるメディアを通じた情報発信



報道関係者各位

2014年7月1日
報道発表資料

川崎市
株式会社東芝
三井不動産株式会社

川崎市・東芝・三井不動産が連携 再生可能エネルギーの普及・啓発を推進 『グリーンパワーで描く川崎の未来プロジェクト』

川崎市・株式会社東芝・三井不動産株式会社は3者で連携し、再生可能エネルギーへの理解・促進を協働で進めるべく、本年度、商業施設での教育型イベントや川崎市内小学校での再生可能エネルギー学習教室などを実施します。

再生可能エネルギーとは太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなど自然の力でつくるエネルギーを指します。こうした再生可能エネルギー由来の電気は暮らしたり地域を大きく変えるパワーを秘めています。経済産業省資源エネルギー庁は、この再生可能エネルギーの普及をはかることを目的に、2013年7月から官民連携による『GREEN POWER プロジェクト』を展開しています。

3者は、『GREEN POWER プロジェクト』の「官民連携で再生可能エネルギーを推進する」という目標に賛同し、それぞれのCSR活動を連携します。川崎市は「グリーンパワー（再生可能エネルギー）への取り組み」を発信、東芝は「次世代育成のプログラム」を提供、街づくりを推進する三井不動産グループは環境や社会貢献活動を知っていた「場ときっかけ」の提供をします。



<本件に関するお問い合わせ先>

【イベント内容について】『グリーンパワーで描く川崎』(NPO法人ピーグッドカップ)
【各者の取り組みについて】川崎市 環境局地球環境課
・株式会社東芝 広報・IR
・三井不動産株式会社 広報



■第1弾：『知ろう！グリーンパワー教室 ～グリーンパワーで描く川崎の未来プロジェクト～』

●2014年9月7日(日)11:00～17:00/三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザ（神奈川県川崎市）
【参加無料！】『エコちゃんず』（CCかわさきエコ戦略のイメージキャラクター）が参加！

主催：株式会社東芝・三井不動産株式会社
共催：川崎市

協力：経済産業省資源エネルギー庁（GREEN POWER プロジェクト）

●株式会社東芝が「人と科学のふれあい」をテーマとし展開してきたイベントや、再生可能エネルギーを楽しく学べる紙芝居を、ラゾーナ川崎プラザで開催します。 ▲エコちゃんずが来るよ！



●プログラム内容：

①ミニ電気自動車（エコカー）工作教室（30分/回）
東芝未来科学館のイベントがラゾーナに！
電池をわかりやすく学べる工作で“電気”の大切さを知ることができます



第1回：12:00～12:30（定員20名）
第2回：14:00～14:30（定員20名）
第3回：15:40～16:10（定員20名）
※整理券を当日10:45より会場配布します

②紙芝居「夢のグリーンパワー」（30分/回）
ハラハラドキドキ、楽しみながらグリーンパワー（再生可能エネルギー）を学べる紙芝居です



第1回：11:00～11:30（席席先着30名）
第2回：13:00～13:30（席席先着30名）
第3回：14:50～15:20（席席先着30名）
第4回：16:30～17:00（席席先着30名）



■第2弾：『体験しよう！グリーンパワー教室 ～グリーンパワーで描く川崎の未来プロジェクト～』

●2014年後期/厚島太陽光発電所見学ツアー・ラゾーナ川崎プラザでの講堂などを予定
●実際にグリーンパワー（再生可能エネルギー）に見て触れる体験を通して、次世代の子ども達と一緒に未来の川崎グリーンシティを描きます。



■第3弾：『学ぼう！グリーンパワー教室～グリーンパワーで描く川崎の未来プロジェクト～』

●2014年後期/川崎市内小学校
●川崎市内の小学校で三井不動産グループが2009年より展開している「&EARTH教室」を開催します。
コミュニティの醸成や再生可能エネルギーをテーマに実施します。



協働・連携に関する情報施策の取組事例②

○市内中間支援組織のHP等による情報発信

【かわさき市民活動ポータルサイト～応援ナビかわさき～】



<http://kawasaki.genki365.net/>

【かわさきコンパクトHP】



<http://www.kawasaki-compact.com/>

【かわさき福祉情報サイト～ふくみみ～】



<http://k-fukumimi.com/index.html>

【すくらむ21HP】



<http://www.scrum21.or.jp/>

協働・連携に関する情報施策の取組事例③

〇市のHPにて取組一覧表

→一覧性、網羅性を重視しているため、実際の取組内容がわかりにくい



平成26年度 協働型事業一覧表

№	事業名称	団体名	行協賛部署	事業概要	事業費(千円)	予算額
1	多摩村オナー会	特定非営利活動法人 とろろ亭 多摩村	市民・子ども局 市民スポーツ課	オナー会の一環として、多摩村の自然を身近に感じ、多摩川に親しく関わっていく機会として実施する。	委社	800,000
2	アートロブ活動長プログラム事業	特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ	市民・子ども局 人権・男女共同参画課	「川崎市V社会貢献推進計画」達成目標(高目標1)に基づき、市民活動に対して女性の活躍を支援し、社会貢献活動の推進を図るための活動を行うことを目的として実施する。	委社	110,000
3	東京芸術大学芸術系【公演】(川崎市児童芸術センター)	川崎の学生芸術団体が主催する公演・学生芸術活動法人、学生芸術活動推進協議会(平成26年度)	市民・子ども局 人権・男女共同参画課	児童芸術に関する地域内の情報提供のために、協賛企業を確保し、川崎市児童芸術センターの公演の開催を支援する。また、児童芸術に関するイベントの開催を支援する。また、児童芸術に関するイベントの開催を支援する。また、児童芸術に関するイベントの開催を支援する。	委社	12,100,000
4	コミュニティビジネス推進事業	特定非営利活動法人 くららの会	経済労働局 産業推進課 企画課	市民活動の推進と、市民活動の活性化を図る。また、市民活動の推進と、市民活動の活性化を図る。また、市民活動の推進と、市民活動の活性化を図る。	委社	12,010,000
5	川崎市地球温暖化対策推進事業	特定非営利活動法人 アクト100	環境局 地球温暖化推進課	地球温暖化対策の推進、川崎市地球温暖化防止活動推進委員会の活動の推進に関する業務について実施する。	委社	110,020,000
6	環境総合研究所における環境科学普及事業	特定非営利活動法人 環境川崎市ネットワーク	環境局 環境総合研究所	環境総合研究所、研究開発や学術的支援及び公益活動を通じた環境科学普及の推進を目的として、市民活動の推進を図る。また、市民活動の推進と、市民活動の活性化を図る。	委社	12,382,000
7	シニアアワード推進事業	特定非営利活動法人、おのきさきプロジェクト	市民・子ども局 高齢社会課 高齢者サービス課	高齢者を対象に、市民活動の推進を図る。また、市民活動の推進と、市民活動の活性化を図る。また、市民活動の推進と、市民活動の活性化を図る。	委社	11,820,000
8	食生活改善推進員 地区連絡活動事業	川崎市食生活改善推進員協議会	健康福祉部 健康安全課 健康推進課	市民活動の推進、食生活の改善を中心とした健康づくりのための普及啓発活動を行う。	市民活動推進、助成	110,000
9	川崎市運動普及推進委員会	川崎市運動普及推進委員会	健康福祉部 健康安全課 健康推進課	運動普及推進委員、運動を通じて地域住民の健康づくりを推進する。また、市民活動の推進と、市民活動の活性化を図る。	市民活動推進、助成	1122,000

〇その他 (各ネットワークの会報、交流会等の場での発表、パネル展示等)



【企業市民交流事業推進委員会NL】



【ごえん楽市】

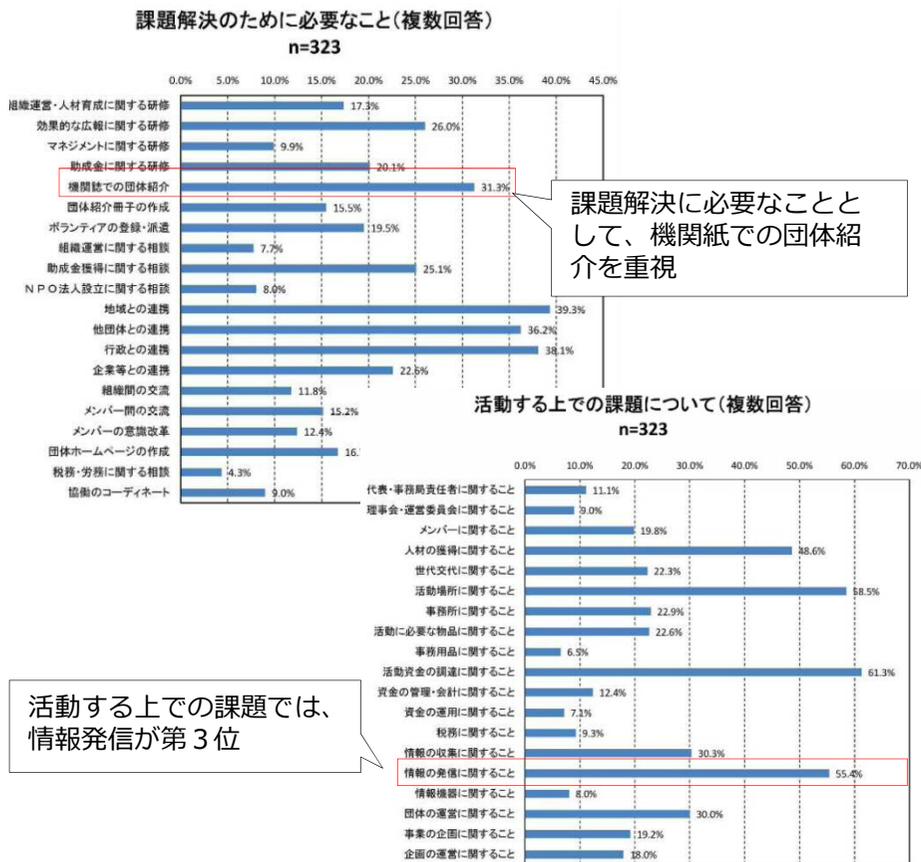


【すくらむ21広報誌】

統計調査から見た情報に関する課題とニーズ①

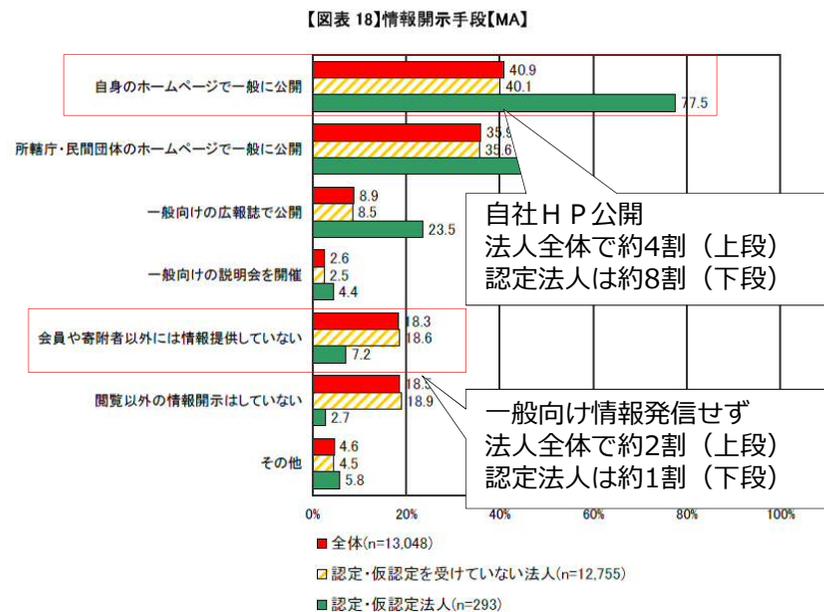
市民活動団体の中でも情報発信に関する関心やニーズが根強い。

○かわさき市民活動センターの利用登録団体アンケート(平成26年2月)



出典:かわさき市民活動センター 利用登録団体アンケート

○内閣府 特定非営利活動法人 及び 市民の社会貢献に関する実態調査(平成27年3月)



出典:内閣府「特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査報告書」

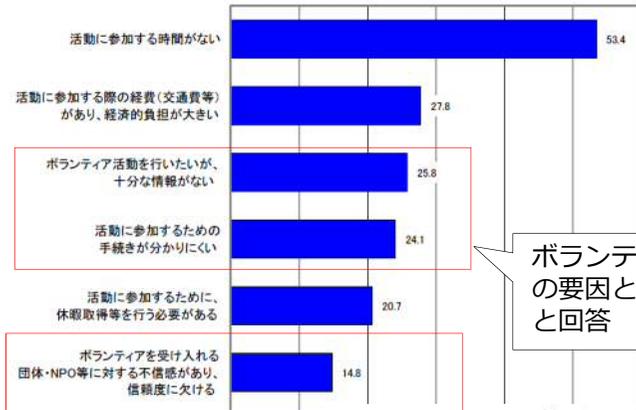
➤ 積極的な情報開示が、寄付や人材等の活動資源獲得につながっているのではないかと。

統計調査から見た情報に関する課題とニーズ②

市民側の社会貢献等に関する意識調査でも、活動団体に関する情報を必要としていることがうかがえる。

○内閣府 特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査～続き～（平成27年3月）

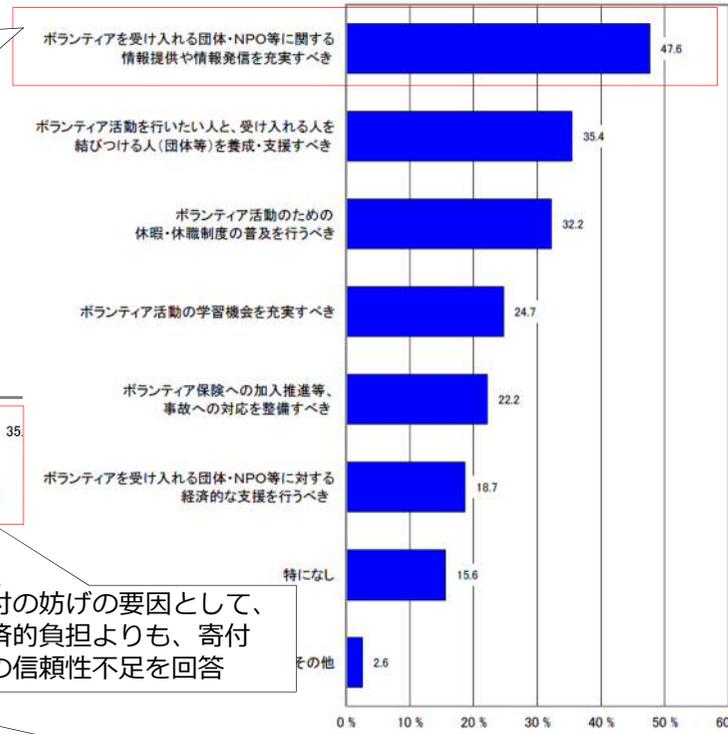
【図表2-11】参加の妨げとなる要因 (n=1,615) 【MA】



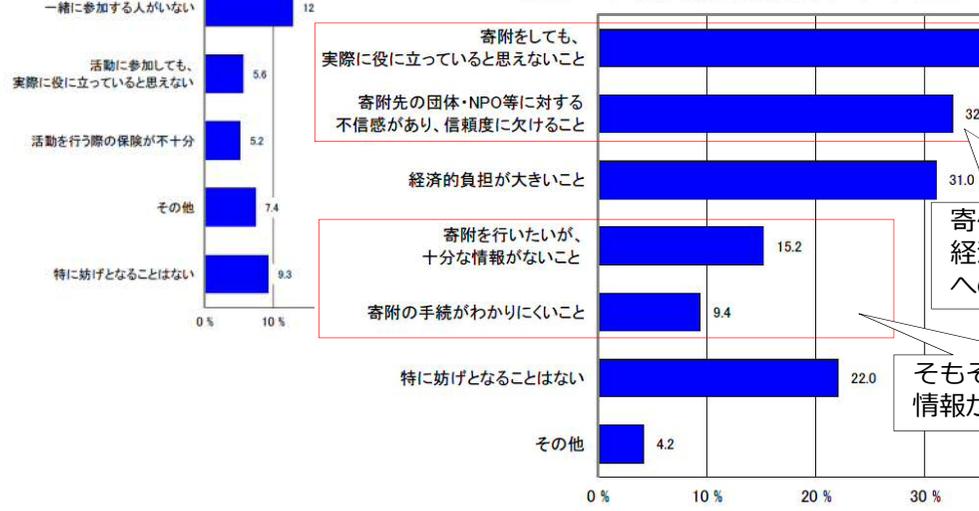
ボランティア推進に関する行政の役割として、情報発信が第1位

ボランティア参加の妨げの要因として、情報不足と回答

【図表2-12】国・地方自治体等への要望 (n=1,625) 【MA】



【図表2-23】寄附の妨げとなる要因 (n=1,617) 【MA】



寄付の妨げの要因として、経済的負担よりも、寄付への信頼性不足を回答

そもそも、寄付に対する情報が不足

出典：内閣府「特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査報告書」

情報に関する現状の課題とニーズを踏まえた施策の方向性

情報に関する現状の課題

○行政の情報発信そのものに工夫の必要性

○それぞれが独立して情報発信
⇒協働・連携の全体像として捉えられない、活動の水平展開につながりにくいのではないか

情報に関するニーズ

○活動する主体側からのニーズ

各主体のエンパワーメントにつながるための情報発信を強化したい。
(⇒他者からの共感や認知の獲得)

一緒に課題に取り組む協働・連携の相手先を知りたい。

出会いにつながる情報交換の場が欲しい。(⇒多様な価値観の交流による、新たな刺激や気づきの獲得、イノベーション創出)

○地域の課題側からのニーズ

活動している団体や取組に関する情報を知らない。

情報発信による課題の顕在化、社会化、一般認知化の必要

実際の課題解決のツールとしての情報(処理技術)の活用
(⇒地域課題解決につながるアプリや課題の見える化、クラウドファンド、人材マッチングなど)

➤ 協働連携を推進する観点から、情報施策の方向性として以下の3つが考えられるのではないか。

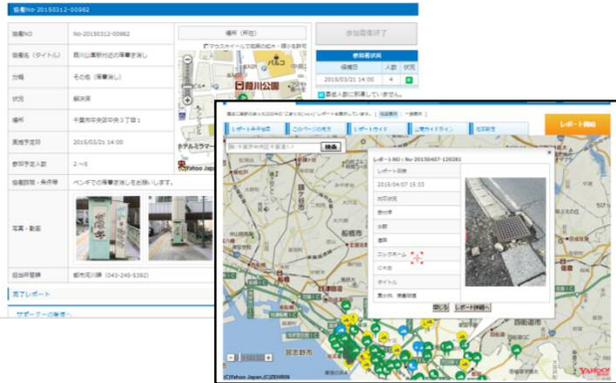
- ① つなぐための情報 (各主体をつなぎ協働連携を生む情報)
- ② 支援するための情報 (協働連携の担い手である市民社会全体の底上げを支援するための情報発信)
- ③ 解決主体としての情報 (情報処理技術等による地域課題の解決)

ICTを活用した情報に関する先進事例

●ちばレポ(ちば市民協働レポート)



・地図アプリを使った市民レポーターによる地域課題の見える化



・報告された地域課題を市民サポーターとの協働により解決



<http://chibarepo.force.com/>

●LOCAL GOOD YOKOHAMA



・地図上に市民が投稿した地域課題を表示



課題 No. #142828275 【おはあちゃんの積み物会社】 設立に向けた「商品開発」プロジェクト プロジェクトオーナー：岩永 敬 募集金額 300,000円 2018.02.18	課題 No. #1426598262 【おはあちゃんの積み物会社】 設立に向けた「商品開発」プロジェクト プロジェクトオーナー：岩永 敬 募集金額 300,000円 2018.02.18	課題 No. #1424335250 【おはあちゃんの積み物会社】 設立に向けた「商品開発」プロジェクト プロジェクトオーナー：岩永 敬 募集金額 300,000円 2018.02.18
課題 No. #1424335112 【おはあちゃんの積み物会社】 設立に向けた「商品開発」プロジェクト プロジェクトオーナー：岩永 敬 募集金額 300,000円 2018.02.18	課題 No. #1424334986 【おはあちゃんの積み物会社】 設立に向けた「商品開発」プロジェクト プロジェクトオーナー：岩永 敬 募集金額 300,000円 2018.02.18	課題 No. #1424334644 【おはあちゃんの積み物会社】 設立に向けた「商品開発」プロジェクト プロジェクトオーナー：岩永 敬 募集金額 300,000円 2018.02.18

・課題解決の取組に対して、クラウドファンディングやスキルマッチングプロジェクト

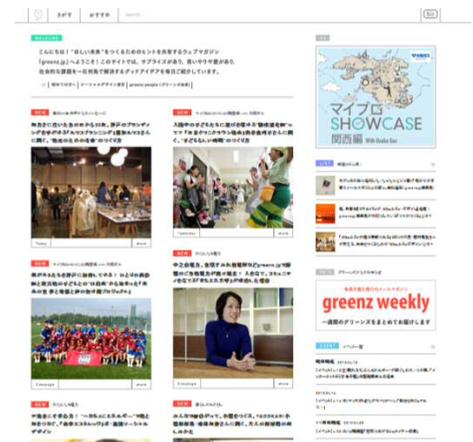


<http://yokohama.localgood.jp/>

●地域貢献、社会貢献に関する民間主体のウェブマガジン(ブログ)



<http://www.machinokoto.net/>

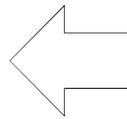
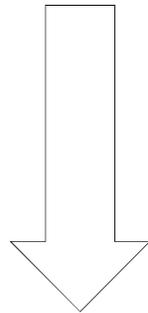


<http://grenz.jp/>

今後の取組について

情報施策の3つの方向性（P 8から）

- 1、つなぐための情報（各主体をつなぎ協働連携を生む情報）
- 2、支援するための情報（協働連携の担い手である市民社会全体の底上げを支援するための情報発信）
- 3、解決主体としての情報（情報処理技術等による地域課題の解決）



先進事例から見えた効果的に実施するための視点、キーワード

- ・ICTならではの特徴を効果的にいかした取組
- ・デザイン力の向上、魅せるための工夫
- ・新たな参加層、若い主体の掘り起し
- ・多様な運営主体
- ・メディア間連携による相乗効果、横展開推進

必要な情報施策の方向性（具体的な施策イメージ）

- 1、つなぐための情報
 - ・ブログなどの情報発信媒体やデザインの工夫による情報発信力の向上
(⇒参加のきっかけにつながる情報発信、活動事例の魅力的な情報発信による活動の水平展開、取組の活性化や当事者以外の者の巻き込み)
 - ・フューチャーセッション等のイベントとSNS連携など
(⇒リアルの間と連動した交流の間づくり)
- 2、支援するための情報
 - ・活動主体や活動内容を魅力的に見せる工夫、発信力の向上
- 3、課題解決のツールとしての情報処理技術
 - ・子育てアプリ、オープンデータ活用、地域課題の見える化、クラウドファンディング、スキルマッチング
 - ・ビッグデータ解析などICTを活用した市民参加、合意形成

まとめ 今後の方向性

- 今後の協働・連携を推進する上では、その情報施策が、多くの一般の市民や関係者を巻き込み、実際の協働・連携による課題解決を生み出すか否かということの視点が重要である。
- この視点に立ち、今後の情報施策の方向性として、以下の3つが考えられる
 - ・ つなぐための情報（各主体をつなぎ協働連携を生む情報）
 - ・ 支援するための情報（担い手となる主体を強化し、協働連携による市民社会全体の底上げを支援する情報）
 - ・ 解決主体としての情報（情報処理技術による地域課題の解決）
- こうしたことを進める際の留意すべきポイントは以下の通り
 - ・ デザイン力の向上や見せる力の工夫など、多くの関係者を惹きつける情報発信
 - ・ 新たな参加のすそ野を広げるため、SNSなど新たなメディア活用
 - ・ 最新のICT技術等を活用した、より効果的、効率的な展開
- いずれにせよ、今後の協働・連携を進めるうえでは、多くの人の参加を促したり、多様な関係者を巻き込む入り口として、情報は非常に重要である。
- 特に、ICT等の新しい技術を積極的に活用した取組により、スピードや費用面で効率的な成果を得ることが期待される。